

株式会社ユーティエス DX推進ビジョン

2023年10月1日 策定

代表取締役 白倉 幹之



DX推進ビジョン

1. プロセス改善による生産性向上

(1) 生産管理システムの改善

- ① 工程別の完了予定時刻の入力
- ② マスター登録
- ③ 管理工程の細分化

(2) 製造工具の棚卸業務を簡略化

- ① MATRIX Manegeによる管理

2. DX推進人材の育成

(1) 生産管理システムのマニュアル作成

- ① 生産管理システムの使い方を標準化させる

DX推進の取り組み - DX推進強化における組織編制

2023年9月より、DX推進委員会を新設、
生産管理課が仕組みを整え、迅速に課題解決を実現できる体制を構築しています。



1. 生産管理システムの改善
2. 詳細情報のマスター登録
3. 管理工程の細分化
4. 棚卸業務の簡略化
5. 管理システム手順の標準化

DX推進の取り組み-推進計画

DXビジョンに基づく推進項目

1. プロセス改善による生産性向上

2. DX推進人材の育成

推進計画

(1)生産管理システムの改善

①工程別の完了予定時刻の入力

②マスター登録

③管理工程の細分化

(2) 棚卸業務の簡略化

MATRIX Manegeの導入して工具の棚卸を簡略

(1) 生産管理システムのマニュアル作成

①生産管理システムの使い方を標準化させる

上記計画達成時の指標

プロセス改善による生産性向上

業務削減時間 **250時間/年間**

DX推進の取り組み—DX戦略

DX戦略

プロセス改善による 生産性向上

生産管理システムの改善として、工程別の作業想定時間を入力し完了時刻を予測できるようしたり、製品情報をマスター登録することでの時間短縮や管理工程の細分化で進捗の見える化を進めます。また、工具を一元管理することで発注業務の自動化など生産性が向上した分、品質の高い製品を提供できるように取り組んでいきます。

DX人材の育成戦略

自社のDX推進を図るためには、生産管理課が中心に生産管理システムのマニュアルを作成し、属人的になりがちなシステム利用の手順を標準化することを目指します。

DX推進の取り組み-DXシナリオ

1. プロセス改善による生産性向上

(1)生産管理システムの改善

生産管理システムを3点改善します。

①工程別の完了予定時刻の入力②マスター登録③管理工程の細分化

システム改善することで生産性上げながら、品質アップと早期対応による顧客満足度を向上させます。

(2)製造工具の棚卸業務を簡略化

MATRIX Manegeを導入して製造工具を一元管理することで、発注業務を自動化することで棚卸業務が簡略化して作業に集中する環境を整えます。

2. DX人材の育成

(1)生産管理システムのマニュアル作成

生産管理システムの使い方をマニュアル化して業務が属人化しないように進めます。

DX推進の取り組み－環境整備の具体的方策

当社ではDXの推進のために下記のような環境整備に取り組んでいます。

1. 生産管理システムの改善による時間削減
2. MATRIX Manegeの導入による棚卸業務の簡略化
3. 生産管理システムの利用手順の標準化

DX推進の取り組み-今後の情報発信

現在、当社では社内DX環境を整え迅速に課題解決を実現できる体制を整えるために生産管理課が中心となり環境整備に取り組んでいます。

生産管理システムを改善することで製造工程における、作業効率の向上が行えました。MATRIX Manege導入による時間削減は、一定の成果を上げることが見込まれています。

会社内の業務変革を実現するためにも、DX推進委員会が中心となり課題の抽出・原因の特定、適切な対策の実施に繋げていくことが重要と考えています。

社内業務システムのデジタル化を推進することで「効率と生産性を高め、新たな価値を作り出す」取り組みを推進しています。

当社では、今後もDXの推進の状況につきまして、ホームページの「DX推進ビジョン」として、随時、公開して参ります。

2023年10月1日 策定
代表取締役 白倉 幹之